



わかやま

No. 7 1

和歌山県精神保健福祉センター

2017年5月

和歌山県福祉保健部福祉保健政策局障害福祉課長

川端 伸次

「県障害福祉課長に就任して」

本年4月に障害福祉課長を拝命しました川端伸次です。前職、副課長として少ないながらも経験がありましたが、課長となり改めてその責任の重さを感じております。

今から2年前、障害福祉課に配属になって間もない頃、福祉の分野で使用する用語に外来語が多いことに疑問を持ちました。バリアフリー、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインなど。しかし、それは単に横文字のほうが格好いいというのではなく、元々、日本にはそのような文化や哲学がなかったというのが理由だそうです。文部科学省も「一般への定着が十分でなく、分かりやすい言い換えが困難な語」に分類しています。

日本の障害者施策は、北欧などの福祉先進国と比べれば、高いレベルにはありません。また、少し前になりますが、内閣府が「障害者の社会参加促進等に関する国際比較調査結果」を公表しています。それによれば、日本人は障害のある人を前にすると意識してしまうという人の割合が高く、一方で、障害のある人への手助けや、一緒に交流したことがないという人が多いという結果が出ています。ワールドカップ試合後のスタジアムでサポーターが会場のごみを拾い、パリの街中で清掃活動をし、世界から称賛される日本人が、障害のある人に対しては自然体で接することができず、支援したことがないという人が他国と比べて多いのです。

確かに、バリアフリーもハード面だけをみれば、古い街並みで石畳が多いヨーロッパでは、障害のある人は移動しにくい環境にあります。むしろ、日本は世界の中でも進んでいる方でしょう。それよりもソフト面、人々の意識の方が問題で、障害のある人にどのように接して良いのか分からないというのが現実ではないでしょうか。見て見ぬふりをする無関心さは、ある意味、日本人特有の遠慮の現れかもしれません。もし、エレベーターで障害のある人と乗り合わせたらどうするか、ヨーロッパでは当然のように、自分が降りてスペースを譲ります。そういう文化が彼らの体には根付いているのです。

昨年4月、障害者差別解消法が施行され、平成18年に障害者権利条約が国連で採択されてから、ようやくひととおりの国内法が整備されました。県としましても、法施行後の昨年8月から様々な障害の特性や障害のある人が困っていることを理解し、必要なサポートや配慮を実践する「あいサポート運動」を展開しています。まだまだ緒に就いたところですが、心のバリアフリーを目指し、さらなる運動の広がりを進めてまいりたいと考えております。

今年度は、現行の県障害者計画、障害福祉計画が最終年度を迎え、新たに30年度を初年度とする計画策定に取り組む節目の年になります。精神保健の分野におきましても、精神科救急医療体制の充実をはじめ、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築、自殺対策、アルコール健康障害対策、依存症対策、ひきこもり支援など、取り組むべき課題は数多くありますが、一つひとつ着実に取り組んでいきたいと考えております。障害のある人もない人も安心して共に暮らせる和歌山を目指し、これからも勇往邁進してまいります。

- もくじ
- P1 「県障害福祉課長に就任して」
 - P2 シリーズセンター長だより／平成29年度精神保健福祉センター相談案内
 - P3 平成29年度精神保健福祉センター相談案内
 - P4 『うめの花』スタッフさんより
 - P5 和歌山メンタルヘルスニュース（精神保健福祉協会総会・研修案内）
 - P6 はーとふるねっとわーく／編集後記

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

☎ (073) 435-5194 FAX (073) 435-5193



虎穴に入らずんば・・・

昨年末にIR（複合型リゾート）推進法が施行され、和歌山県は和歌山市とともに和歌山マリーナシティにカジノを含むIRの誘致を目指す取り組みを進めています。ギャンブル依存症への関心が高まってきたところにさらにカジノができるとなると、いよいよこの問題に対して本腰を入れて取り組まなければならなくなり、精神保健福祉センターとしても重大な関心を持ってこの問題の動向を見守っています。幸いにも、仁坂知事は当初から依存症対策を念頭に置き、カジノは外国人専用にする方針を示しているため、県民のIRに関連したギャンブル依存症のリスクは最小限になるように配慮されています。ただ、いずれにしても日本のどこかにカジノができる時代であることは間違いないので、それなりに準備をしておく必要はあると思っています。

そもそも小心者の私は賭け事ばかりか投資にも手を出さない人生を送ってきているので、カジノがどんなものかを知る由もありません。カジノを知らずにギャンブル依存症対策を論ずるのは無理があるので、3月にシンガポールを訪問した際に、職務上の関心からカジノを覗いてきました。マリーナベイサンズは「これぞまさにIR」という巨大複合施設で、その中にあるカジノはサッカーの試合ができるくらいのフロアに無数のゲームテーブルやスロットマシンが並んでいます。小心者の私はとりあえずスロットマシンで2～30ドル遊んでみましたが、ルーレットやバカラになると最低賭け金が10～25ドルなので簡単に数百ドルが動くこととなります。勝ち負けの差が大きいので、「依存症」以前に、お金のまつわる問題のリスクが高いだろうと感じました。あくまでも「遊び」としてどう楽しむかがポイントですが、とりあえず無傷で帰国できてホッとしています。



平成29年度精神保健福祉センター相談案内

思春期・青年期 特定窓口相談窓口（要予約）

専門の医師による思春期・青年期の相談窓口を設置しています。思春期・青年期に特有の悩みや精神疾患、不登校やひきこもりなどの相談に応じます。

対 象 思春期・青年期の問題を抱えるご本人やご家族

場 所 精神保健福祉センター 相談室

申し込み 事前に予約が必要です。

相談料 無料



わかちあいの会和歌山 うめの花

対 象 大切な人を自死で失った方
(家族・知人・友人)
場 所 精神保健福祉センター
参加費 200円(お菓子・お茶代として)
(一時保育あり)
1週間前までにご相談ください。

△また、平成29年7月8日(土)
13:30~15:30 田辺市民総合センターで交流会を開催します。

開催日時・内容

平成29年6月17日(土) 13:30~15:30 交流会	平成29年8月19日(土) 13:30~15:30 交流会
平成29年10月21日(土) 13:30~15:30 交流会	平成29年11月21日(火) 10:00~12:00 交流会
平成29年12月16日(土) 10:00~12:00 講演会 14:00~14:30 音楽会 14:40~16:30 交流会	平成30年2月17日(土) 13:30~15:30 交流会

自死遺族相談

対 象 大切な人を自死で失った方
(家族・知人・友人)
場 所 精神保健福祉センター
参加費 無料
※要予約 ※秘密厳守

開催日時 月曜日13:00~17:00

平成29年6月26日(月)	平成29年7月24日(月)
平成29年9月25日(月)	平成29年10月23日(月)
平成29年11月27日(月)	平成30年1月22日(月)
平成30年3月26日(月)	

※平成29年8月・12月、平成30年2月はありません

ひきこもり家族のつどい

対 象 “ひきこもり”や“孤立”でお悩みのご家族
日 時 毎月第3水曜 13:30~15:30
(3月のみ第2水曜日です)
場 所 精神保健福祉センター
プレイルूम

開催日時

平成29年6月21日(水)	平成29年7月19日(水)
平成29年8月16日(水)	平成29年9月20日(水)
平成29年10月18日(水)	平成29年11月15日(水)
平成29年12月20日(水)	平成30年1月17日(水)
平成30年2月21日(水)	平成30年3月14日(水)

参加費 無料

青年のつどい フリースペース

対 象 ひきこもりの状態にある方、人とかわることに抵抗のある方
開催日 毎週火曜日 13:00~16:00(都合により変更あり)
場 所 精神保健福祉センター プレイルूम
参加費 無料

薬物依存の個別相談

対 象 違法薬物、危険ドラッグ、処方薬などの薬物依存にお悩みの本人、家族
時 間 月~金(祝日除く)10:00~16:00の間の40程度(予約制)
場 所 精神保健福祉センター
料 金 無料





『うめの花』大切な人を自死で失った方々（家族・知人・友人）のつどいの場 スタッフさんより

『うめの花』のスタッフとしてお手伝いをさせて頂いて6年ほどになります。

私自身も7年前に夫を自死で亡くし、当時は精神的・経済的にも苦しい思いをしていました。どこに、どう、怒り、悲しみの感情をぶつけたら良いのか、何とも言えない、出口のないトンネルにいる様でした。

そんなとき、図書館で手に取った一冊の本の最後のページに、和歌山県の自死遺族相談の事が書かれていたので、すがる様な思いで電話をし、『わかちあいの会』の存在を知りました。

最初に参加した時は、とても不安でしたが、優しいスタッフの方、同じ様な思いをかかえている方、親身になって相談にのってくださるセンターの方に出会い、自分の気持ちを素直に話すことができました。それ以来、定期的に2か月に一度の集いに参加させて頂き、今に至る事となります。

だれにも思いを話せず、辛い思いを抱えながらも、仕事、家事などをこなし頑張っておられる方、毎日悲しみに押しつぶされそうな思いの方、一度、『うめの花』の集いに足を運んで頂き、温かいお茶を飲みながら、同じ思いをわかちあいませんか。

(Hさん)



『うめの花』のお手伝いを始めて8年目になります。

当初、残された私達家族は、自責の念にさいなまれ、悲観的な状況でした。この辛い状況を少しずつ回復できたのは、同じ境遇の方達と話し、辛い思いを分かち合う事でした。

分かち合うことで、「私の居場所はここにあった」と感じました。辛い気持ちを聞いて頂き、辛い思いを分かち合い、一緒に涙を流し、同じ境遇の方と出会って、一歩前に進めたと思っています。

夫を亡くし10年が経過し、今私は、その辛い経験を活かし、同じ境遇の方達の心に寄り添い、「辛くて、不安で仕方がないが、決して自分1人ではない。同じ境遇の方達がそばにいる」と、少しでも思ってもらいたく、お手伝いを続けています。

また、「今、“心が真っ暗闇で、どうして良いのかも分からず、何もできないでいる”と思っている方も、必ず光がその先に見えてきます。時間はかかるけれど、必ず一筋の光が足元を照らし、前に向かって歩いていける事」を伝え続けていきたいと思えます。

これから先も、私達が経験したような辛い思いをした人への心のよりどころとして、1人でも亡くなる方が減る事を願って、『うめの花』の活動や啓発に協力していきたいと思えます。

ほんの少しの勇気を出して『うめの花』にお越しください。私達がお待ちしています。

(Kさん)



和歌山メンタルヘルスニュース

和歌山県精神保健福祉協会の総会と講演会のご案内

開催日時 平成29年7月12日(水)

場所 和歌山ビッグ愛 9階

(和歌山市手平2-1-2)

会議室Cで総会后、会議室Aで講演会

〈総会開場〉13:00~

〈総会〉13:15~14:00

〈講演会〉14:10~15:40

講演 「つまづいたっていいじゃないかにんげんだもの
~父 相田みつをを語る~」

講師 相田みつを美術館
館長 相田 一人氏



(プロフィール)

相田みつを美術館館長。昭和30年栃木県足利市生まれ。書家・詩人である相田みつをの長男。出版社勤務を経て、平成8年、東京銀座に相田みつを美術館を開館。「じぶんの花を」「本気」「ある日自分へ」(文化出版局)、「いまからここから」(ダイヤモンド社)などの編集、監修に携わる。現在、美術館業務の傍ら、全国各地での講演活動や執筆活動を行っている。

精神保健福祉従事者専門研修会

◆テーマ「依存症への理解と支援 ~アルコール、薬物、ギャンブルを中心として~」

講師 西川 京子(にしかわきょうこ)先生 [新阿武山クリニック ソーシャルワーカー]

日時 平成29年7月14日(金) 13:30~15:40

場所 御坊保健所 別館会議室

定員 50名(先着順)



思春期セミナー

◆テーマ「大人として生きていくための『学び』

~『安心して生きていく力』を育む家庭科教育の可能性~」

講師 中山 節子(なかやませつこ)先生 [千葉大学 教育学部准教授]

日時 平成29年7月25日(火)

場所 和歌山ビッグ愛 12階1201号室

定員 未定



申込先

精神保健福祉センター

電話 073-435-5194

FAX 073-435-5193

精神保健福祉の第一線で働く関係スタッフの紹介コーナーです。
今回は、医療法人田村病院 精神保健福祉士 旭 惇志さんです。

はーとふるネットワーク



ー精神保健福祉士になられたきっかけは何ですか？

精神保健福祉士という国家資格は大学の時に知り、4回生の夏に実習へ行きました。入院している方やデイケアに参加されている方とかかわる中で、希望する生活の実現に向かっていらっしゃる方々を見て、精神保健福祉士としてサポートしていきたいと思ったのがきっかけです。

ー具体的にはどのように支援されていますか？

現在は主にデイケアのスタッフとしてデイケアの運営や相談業務をしています。スタッフもプログラムと一緒に参加し、メンバーさんが行っているプログラムを見守り、参加が出来ていない方や作業が上手く出来ていない方等があれば声をかけサポートしています。当院のデイケアでは、メンバーさんが主体となってプログラムを行っていくことを大切にしており、デイケアのルールやプログラムの内容等についてミーティングで意見を出して決めています。その為、ミーティングプログラムの回数が多いのが特徴です。デイケアという社会により近い環境の中、集団で一つの物事に取り組む過程を通してご本人さんが自信をつけ、今後の生活を前向きに考えていくことが出来るようかかわっています。

また相談業務ではメンバーさんの生活での悩み等を聞いています。気持ちを受容しながら、今何が一番困っているのか、どうすれば良いのかを一緒に考え、必要があれば社会資源を説明し、地域の事業所等と連携しています。

支援をする際、一番大切にしていることはどのようなことですか？

ご本人さんが自分自身の生活を主体的に考え、自己決定できるよう、かかわりの過程を大事にしています。その際に面接での口調、表情、相手への気遣い、姿勢等に気を配り、安心して話してもらえるよう努めることや精神保健福祉士という専門職としてどうかかわるのかを意識しています。

ー今後の抱負について教えてください。

精神保健福祉士として働き始めて5年目となります。「この人に相談してよかった」と思っていただけのような信頼される精神保健福祉士になりたいと思っています。その為にも日々の業務を振り返り、自己研鑽を積んでいきたいと考えています。

ー一次の方のご紹介をお願いします。

サポートセンターにじの「上野山花菜」さんを紹介いたします。精神保健福祉士等で組織されている和歌山県精神医学ソーシャルワーカー協会の活動を通して交流することが多く、いつも頼りにしています。



編集後記

気象庁が発表した3か月予報によると、「今年の8月は平年より気温が上がる可能性が高く、厳しい暑さとなる見通し」とのこと。今年の夏もかなり暑い夏になりそうです。熱中症の予防は①暑さを避ける②こまめに水分を補給するです。扇風機やエアコンを上手に使いながら、室内でも、外出時でも、のどが渇いたと感じなくてもこまめに水分をとりましょう。※ジュースや、あま〜いコーヒーの飲み過ぎには注意してくださいね。

